

クールジャパン関連予算（令和4年度補正予算）

令和4年度補正クールジャパン関連予算合計・・・・・・・・・・187億円

一般会計（主要事業） ※ 主なもの

○マーケットイン輸出ビジネス拡大緊急支援事業（農水省）・・・・・・・・・・76億円

2025年2兆円の目標を前倒しで達成できるよう、品目団体によるオールジャパンの輸出力強化、JETROによる輸出事業者サポート、JFOODOによる重点的・戦略的プロモーション、日本食・食文化の魅力発信等を行い、輸出の体制強化を加速化。

○国立公園満喫プロジェクト等推進事業（環境省）・・・・・・・・・・57億円

改正自然公園法を活用しつつ自治体・民間団体との連携を促進し、国内利用客の早期回復、ゼロカーボンパーク推進を含むサステナブルな観光地の形成、インバウンドの受入環境向上と段階的回復に向けた取組を図る。

○日本産酒類海外展開支援事業費補助金等（国税庁）・・・・・・・・・・13億円

酒類事業者が行う酒蔵自体の観光化や地域での酒蔵ツーリズムプランの企画等や海外向け商品の開発や海外におけるプロモーション等の海外展開を支援。また、海外の日本食レストランにおいて、日本産酒類の特徴（伝統的酒造り文化の魅力を含む）を説明するセミナーなどを実施。

○放送コンテンツによる地域情報発信力強化事業（総務省）・・・・・・・・・・8億円

放送事業者等と地方公共団体や観光産業、農林水産業、地場産業等の事業者・団体が連携し、日本各地の魅力を伝える放送コンテンツを制作して海外の放送局を通じて発信すること等により、我が国の地域からの情報発信を強化。

※ 上記以外に、金額は明示されていないが、クールジャパン関連の施策を含むもの（主要事業）・・・・・・・・・・合計 311億円の内数

※ 主なもの

○海外市場開拓・有志国サプライチェーン構築等促進事業（経産省）・・・・・・・・・・190億円の内数

オンライン展示会への出展支援や伴走型支援の拡充、地域商社の輸出力強化等により中堅・中小企業の海外市場開拓を支援。

クールジャパン関連予算（令和5年度当初予算）

令和5年度クールジャパン関連予算 合計・・・222億円

一般会計（主要事業）

※ 主なもの

○文化資源を活用したインバウンドのための環境整備（観光庁）

・・・・・・40億円

文化資源の磨き上げによる観光インバウンドのための環境整備として、「日本博」を契機とした観光コンテンツの拡充やLiving History（生きた歴史体感プログラム）事業、日本が誇る先端技術を活用した日本文化の魅力発信を実施。

○マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業（農水省）・・・・・・24億円

2025年2兆円の目標を前倒しで達成できるよう、戦略的な輸出拡大へのサポート、品目団体の輸出力強化、日本食・食文化の魅力発信による日本産品の海外での需要拡大等の取組を実施。

○文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業（文化庁）

・・・・・・19億円

文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環を生み出すことを目的とする「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」により、主務大臣が認定した計画に基づく事業を支援。

○国際見本市を通じた放送コンテンツの海外展開（総務省）・・・0.7億円

地域経済活性化、我が国産業の国際競争力の強化を図るため、ローカル放送局等による番組の国際見本市を通じた放送コンテンツの海外展開を促進。

特別会計（財投特会）

○(株)海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）による出資（経産省）

・・・・・・80億円

我が国の生活文化の特色を生かした魅力ある商品やサービス等の海外における要開拓等の事業活動に対し、リスクマネー供給等の支援を実施。

左記以外に、金額は明示されていないが、

クールジャパン関連の施策を含むもの・・・合計 978億円の内数

一般会計（主要事業）

※ 主なもの

○(独)日本貿易振興機構運営費交付金(経産省)・・・・・・266億円の内数

国内外のネットワークや海外ビジネス支援に精通した人材の厚み等を活かし、
①農林水産物・食品の輸出や、②中堅・中小企業等の海外展開を支援。

○国立公園満喫プロジェクト等推進事業(環境省)・・・・・・132億円の内数

改正自然公園法を活用しつつ自治体・民間団体等との連携を促進し、国内利用客の早期回復、ゼロカーボンパーク推進を含むサステナブルな観光地の形成、インバウンドの受入環境向上と段階的回復に向けた取組を図る。

○国際交流基金事業（放送コンテンツ海外展開事業）（外務省）

・・・・・・128億円の内数

国際交流基金を通じ、日本文化紹介の観点から、アニメーション、ドラマを含むテレビ番組を提供。

○農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策のうち農泊推進型）

（農水省）

・・・・・・91億円の内数

農山漁村の活性化と所得向上を図るため、地域における実施体制の整備、食や景観を活用した観光コンテンツの磨き上げ、ワーケーション対応等の利便性向上、国内外へのプロモーション等を支援するとともに、古民家等を活用した滞在施設、体験施設の整備等を一体的に支援。

○日本産酒類の輸出促進事業（国税庁）・・・・・・15億円の内数

日本産酒類の輸出促進のため、海外販路開拓支援や国際的プロモーション、地理的表示（GI）の活用を含むブランド化などに取り組む。

特別会計（特許特会）

○海外知的財産プロデューサー（特許庁）・・・・・・106億円の内数

企業での海外駐在経験と知財マネジメント経験を有する専門家（海外知的財産プロデューサー）が、海外ビジネスにおける知的財産リスクの低減や知的財産の活用等の観点から支援。